～ 地球にやさしい古紙リサイクル ～
紙の分別で、ごみを減らして森林保護

毎日の生活で、たくさんの紙製品を使っていませんか？ 2010 年の日本の紙消費量は、中国、アメリカに次いで世界第３位で、年間一人あたり 216ｋｇの紙を消費しています。使い終えた紙をごみ箱に入れると燃えるごみになりますが、分別すれば古紙はリサイクルされ、新たな紙製品として生まれ変わります。

◆ 古紙リサイクルのメリット ◆

① 原料の安定確保

製紙原料のうち、古紙パルプ利用率は 62.5%（2010 年）。貴重な資源です。

② 資源の有効利用と森林資源の持続可能な利用

パルプ材の再利用で、新たに使用する木材（パルプ材）の量を抑制します。

古紙利用による木質資源節約効果　4,685 万㎥（2010 年）

→ 福岡ヤフードームの容量（176 万㎥）に換算すると、26.6 個分

③ 廃棄物減量化

古紙の回収・利用によって、ごみとして処理される紙の量が減ります。

一般廃棄物の焼却削減量 591 万トン、最終処分量削減量 33.8 万トン

◆ 古紙の分別とリサイクル ◆

※ アルミを使っている紙パックは一緒にしないで下さい。※ 紙パックは開いて水洗いをし、きちんと乾かして下さい。

※ 資料出典：公益財団法人 古紙再生促進センター

紙袋を使った雑がみの出し方

～ 佐賀市にお住まいの方 ～

新聞や雑誌以外にもリサイクルできる紙製品はたくさんあります。でも形がバラバラだと束ねて結びづらいので、ついごみ箱に捨ててしまいがちです。そこで佐賀市では、名刺サイズ以上で形が不揃いの紙は、紙袋にまとめて資源物の日に出せるようにしています。

※ 佐賀市以外にお住まいの方は、お住まいの市町村のルールに沿って出してください。

◆ 紙袋に入れて出せる、資源となる紙製品 ◆

- 名刺サイズ以上のメモ紙
- お菓子の箱
- ティッシュペーパーの箱（ビニールは外す）
- プリント、ノート
- 包装紙
- ラップ、トイレットペーパーの芯
- コピー用紙、パンフレット
- レシート
- 手紙、ハガキ、封筒
- 500ml 未満の紙パック（内側がアルミでないもの。洗って、開いて、乾かしてください）
- パルプモールド（鶏卵や果物、機械等の梱包に使う紙製のクッション材）

◆ 燃えるごみとなる紙製品 ◆

- においがついた紙（洗剤や線香の箱）
- 粘着するものがついた紙（ガムテープ、のりつき）
- 汚れた紙（使用済みティッシュなど）
- 圧着はがき
- など

◆ ポイント ◆

- 紙袋をごみ箱の横に置いておくと、気軽に取り組めます。
- 住所や名前など、気になる部分があれば切り取って燃えるごみに、残りは紙袋に入れてください。
- 新聞やダンボールは、紙袋に入れず、紙ひもで結んで出してください。
- 牛乳やジュースの紙パックは、洗って、開いて、乾かしてから出してください。

◎ 問い合わせ

佐賀市役所　循環型社会推進課　３R推進係　TEL：３０－２４３０　FAX：３０－２４９４